



2016年7月号 (No.248)

# 図書館だより

鹿嶋市立

中央図書館 ☎ 0299-83-2510

大野分館 ☎ 0299-69-1114

<http://opac.city.kashima.ibaraki.jp/>



今年も!

## 中央図書館 開館時間を延長!



夏らしい日差しになりました。中央図書館では、昨年に引き続き7月と8月の2か月間の毎週火曜と金曜の開館時間を1時間延長し、19時まで開館します。仕事やお買いもの帰りにお立ち寄りください。お待ちしております。



### 募集①

### 図書修理講習会のお知らせ

図書の修理講習会を開催します。実際に本を手で修理を行います。興味のある方は、ぜひご参加ください。

日時：7月6日(水) 10時～15時30分

対象：市内在住一般成人 25名(定員になり次第締め切り)

会場：中央図書館 視聴覚室

持ち物：エプロン、お手拭、筆記用具、昼食

申込み：中央図書館または大野分館へ、来館か電話でどうぞ



(休) = 中央館  
大野分館とも休館

= 雑誌リサイクルの日

= かみしばい

= 子ども映画会  
大野シネマ館

= おはなし会  
読み聞かせの会

= 鹿嶋の民話

= 開館時間延長  
19時まで  
【中央館のみ】

日	月	火	水	木	金	土
					1 中央館 大野分館 19時開館	2 中央館 17:00~
3 中央館 11:00~	4 (休)	5 中央館のみ 19時	6	7	8 中央館のみ 19時	9 中央館 大野分館 13:30~ 14:00~
10 大野分館 14:00~	11 (休)	12 中央館のみ 19時	13	14	15 中央館のみ 19時	16 中央館 大野分館 11:00~ 11:00~
17	18 海の日 (休)	19 中央館のみ 19時	20 中央館 14:30~	21	22 中央館のみ 19時	23 大野分館 14:00~
24/31	25 (休)	26 中央館のみ 19時	27	28	29 中央館のみ 19時	30

## 私のおすすめの一冊

### 『田中角栄』

－戦後日本の悲しき自画像

早野 透：著

中央公論新社（S/289/㍶）



石原慎太郎氏が田中角栄に成り代わって著した『天才』が人気だ。石原氏は以前、福田派の別働隊「青嵐会」幹事長として、時の田中政権を揺さぶった。その石原氏は「今、彼が生きていたら日本は大きく変わっている」と果敢な実行力を評価する。死後20余年、“角栄本”は引きも切らない。中でも本書は出色（2013年／新書大賞2位）。著者は元朝日新聞政治部次長。石原氏、そして『文藝春秋』で田中金脈の構図を暴いた立花隆氏とは違い、「角栄に魅かれ、この男のすべてを知りたかった」。昭和49年、首相番の著者28歳。角栄絶頂の55歳。この後、満月は欠けていく。

角栄少年15歳は雪深い新潟から憧れと憎悪の東京を目指した。土建業で名を上げ、27歳で国政へ立候補するが道は険しい。多くの政治家は裕福に生まれ育ち、門閥、学閥を形成する。だが、角栄の同窓は高等小学校だけである。著者は今太閤と喝采を浴びた栄光の日から脳梗塞に直撃されるまで、稀代の政治家と至近距離で向き合うが、角栄権力の暴虐への批判は容赦ない。「なぜ角栄はロッキードの金をもらってないと言い続けたのか。あれだけ証言がそろっているのに」。潤色を排し、一線記者の伶俐な目で見た「わたしの田中角栄」は才気縦横。挿話も豊富。若くして生やしたちょび髭は、飯田橋の小さな理髪店の美人店員がいたずらに剃り残したのがきっかけ。「戦後を象徴するのは田中角栄と美空ひばりに指を屈する」という。（大野分館 兼平 正美）

## 募集②

### 図書館見学ツアー

普段見ることのない、中央図書館の閉架書庫をご案内いたします。興味のある方は、ぜひご参加ください。

日時：7月9日（土）

①10時30分～11時30分

②14時～15時

対象：各10名 鹿嶋市民の方

\*小学生以下は保護者同伴で。  
定員になり次第締め切ります。

会場：中央図書館 視聴覚室

## 募集③

### 大野分館 一日図書館員

カウンターでの本の貸出や返却、本を棚に戻す作業など図書館の仕事が体験できます。動きやすい服装でチャレンジしてください。

日時：7月31日（日）

10時～14時

対象：市内の小学4年～6年生

募集人数：3名（先着順）

会場：大野分館

持ち物：エプロン、筆記用具、お弁当、飲み物

★申込みは、いずれも中央図書館または大野分館へ来館か電話でどうぞ！



## 新着図書のご案内

ホームページの『おすすめコーナー』でも、毎週、**新刊案内**をお届けしています。ぜひ、ご覧ください。



『**女学生奇譚**』(F/913.6/カ)

川瀬 七緒 著

フリーライターとして活動する八坂駿は、とあるオカルト雑誌の編集長から奇妙な企画を依頼される。読んではいけないという警告文と古書を、持ち主の男性に代わって彼の妹が持ち込んできたのだった。調査を進めるうち、戦前の女学生失踪の謎に迫っていく八坂だったが…？



『**ポーラスター**』(F/913.6/カ)

海堂 尊 著

キューバ革命の英雄、チェ・ゲバラを主人公に据えた四部作の第一弾。アルゼンチンの医学生、エルネスト・ゲバラは親友と南米縦断バイク旅行へと飛び出す。チリで新聞社の特派員になったりする一方で、独裁や貧困に苦しむ人々と接し、次第に目指すべき場所を見出してゆく。



『**ふしぎな部落問題**』(S/361/カ)

角岡 伸彦 著

日本の差別問題を語るとき、部落は必ずその一つに上がる。新たに浮かんできた、部落解放運動の抱える矛盾、雑誌やテレビなどのマスメディアが安易に報道する偏見…これまでの部落解放運動が進めてきた取り組みが、どんな成果を上げ、どんな問題を残しているか。部落を語り継ぐことが本当に良いことなのか、部落差別問題の過去と現在を考える。

今日の

おすすめAV



【DVD】『**ミニオンズ**』(中央館所蔵/D77/ミ)

NBC ユニバーサル・エンターテイメント

アメリカの人気アニメ映画『怪盗グルーシリーズ』に出てくる大きな目玉のきいろい生物・ミニオンたちをフューチャーしたスピノフ作品です。ミニオンは今や日本国内でも大人気で、はば広いグッズ展開やテーマパークでのコラボなども行われていますね。海を越えて日本を揺るがす、ユニークでかわいい彼らの活躍をお楽しみください。『怪盗グルーシリーズ』のDVDは中央図書館に所蔵されていますので、こちらをあわせてどうぞ！。





「はじめてのおとうさんはウルトラマン」(E/726.6/ハ) みやにし たつや 作

かいじゅうにはめっぼう<sup>つよ</sup>強いおとうさん。どんなかいじゅうもすぐにやっつけてしまうけど、そんなおとうさんのもとに、赤ちゃん<sup>あか</sup>がうまれた。おむつをかえたり、からだを洗<sup>あら</sup>ってあげたり、夜泣き<sup>よなき</sup>になやまされることもある、しんまいのおとうさんはだいくせん。



「きかせたがりやの魔女<sup>まじょ</sup>」(K/913/オ)

岡田 淳 作

どの学校<sup>がっこう</sup>にも、実は魔女<sup>じつ</sup>や魔法使<sup>まほうつか</sup>いがこっそり住<sup>す</sup>んでいる。派手<sup>はで</sup>な化粧<sup>けしやう</sup>をした魔女<sup>まじょ</sup>にばったり出<sup>であ</sup>会<sup>かい</sup>ってしまった<sup>ぼくは</sup>、彼女<sup>かのじょ</sup>に不意<sup>ふい</sup>に呼<sup>よ</sup>び出<sup>だ</sup>されては、魔女<sup>まじょ</sup>と魔法使<sup>まほうつか</sup>いの6つ<sup>はなし</sup>の話を聞<sup>き</sup>かされることになるのだった。



「絶対<sup>ぜったい</sup>城<sup>じやうせん</sup>先輩<sup>せんぱい</sup>の妖怪学講座<sup>ようかいがくこうざ</sup>8」(BF/913.6/ミ/ティーンズ)

峰守 ひろかず 著

友人<sup>ゆうじん</sup>の手<sup>て</sup>を借<sup>か</sup>りておしゃれに身<sup>み</sup>を包<sup>つつ</sup>んだ礼音<sup>あやね</sup>が、いつものように訪<sup>おとず</sup>れた<sup>よんじゆう</sup>四<sup>よん</sup>番<sup>ばん</sup>資<sup>し</sup>料<sup>りょう</sup>室<sup>しつ</sup>。しかし彼女<sup>かのじょ</sup>を出<sup>で</sup>迎<sup>むか</sup>えたのは、妖怪学<sup>ようかいがく</sup>徒<sup>と</sup>であり、絶対<sup>ぜったい</sup>城<sup>じやうせん</sup>の旧知<sup>きゆうち</sup>でもある女性<sup>じよせい</sup>、櫻城<sup>さくらぎ</sup>晃<sup>あきら</sup>だった。絶対<sup>ぜったい</sup>城<sup>じやうせん</sup>と櫻城<sup>さくらぎ</sup>が絶海<sup>ぜっかい</sup>の孤島<sup>ことう</sup>へ向<sup>む</sup>かう一方<sup>いつぱう</sup>、大学<sup>だいがく</sup>に残<sup>のこ</sup>った礼音<sup>あやね</sup>は、舞<sup>ま</sup>い込<sup>こ</sup>んできた事件<sup>じけん</sup>にひとり立<sup>た</sup>ち向<sup>む</sup>かう。

こんにちは!

大野分館です♪

\*おはなし会「てぶくろ」

7月 9日(土)14:00~

大野分館 おはなしのへや

\*大野シネマ館

7月10日(日)14:00~

大野ふれあいセンター2階 AV室  
『蟬しぐれ』(131分) 主演:市川染五郎

\*読みきかせの会

7月16日(土)11:00~

大野分館 おはなしのへや

\*子ども映画会

7月23日(土)14:00~

大野ふれあいセンター2階 AV室  
『世界名作劇場 あらいぐまラスカル』(90分)

~次の雑誌リサイクル・図書館だよりの発行は、8月2日(火)予定です。~